

51期 社員研修旅行 1班

2泊3日の社員研修旅行（1班）へ行って参りました。

日 程：4月4日（金）～4月6日（日）

行 先：九州 知覧～湯布院

参加数：15名

ようこそ九州路へいらっしゃいました



3日間よろしく願致します



鹿児島中央観光バス

日程表

	月/日	発着地	交通機関	現地時刻	詳細	宿泊都市	朝	昼	夕
1	4/4(金)	羽田空港集合 羽田空港発 鹿児島空港着 鹿児島空港発 知覧 鹿児島市内	10:40 11:40発 13:30着 14:15 15:30～ 16:30 16:40～ 17:00 18:00 18:30～	全日空623便 専用車	航空機にて空路、直行便にて鹿児島へ 着後、知覧へ 知覧特攻平和会館見学 富屋食堂(資料館) 見学 ホテル着 鹿児島市内『さつま路』にて郷土料理の夕食 ※ホテルより徒歩約3分/220m	鹿児島市内 レム鹿児島	—	—	○
2	4/5(土)	鹿児島市内 阿蘇市内 湯布院	9:00 12:30～ 13:20 15:00 17:00 19:00	専用車	湯布院へ 昼食 見学後、湯布院へ 湯布院の街並み散策 旅館着 旅館にてバイキングの夕食	湯布院温泉 ゆふいん 山水館	○	○	○
3	4/6(日)	湯布院滞在 ホテル発 福岡空港着 福岡空港発 羽田空港着	10:00 11:45 14:25発 16:10着	専用車 全日空256便	●研修会 チェックアウト ホテル発 空路、羽田空港へ 着後、解散 おつかれさまでした。		○	—	—

～1日目～

知覧特攻平和会館見学（鹿児島市）

世界恒久の平和を願って建てられた博物館を見学しました。



一式戦闘機「隼」



世界の平和を願って記念撮影



富屋食堂（資料館）見学

特攻の母「鳥濱トメ」との交流の場となった軍指定食堂を見学しました。

社員研修旅行にて、知覧特攻平和会館と富屋食堂の見学をなぜ選んだのか・・・

それは遡ること20年前、荒金社長が糸山栄太郎塾長著「ケンカ哲学」出版記念京都

公演（2005年2月5日）の後、祇園一力亭での石原慎太郎氏との出会いがきっかけとなり、石原慎太郎氏が制作総指揮 脚本を務める映画『俺は、君のためにこそ死ににいく』（2007年公開）の制作に糸山政経塾の仲間と協力することとなった。

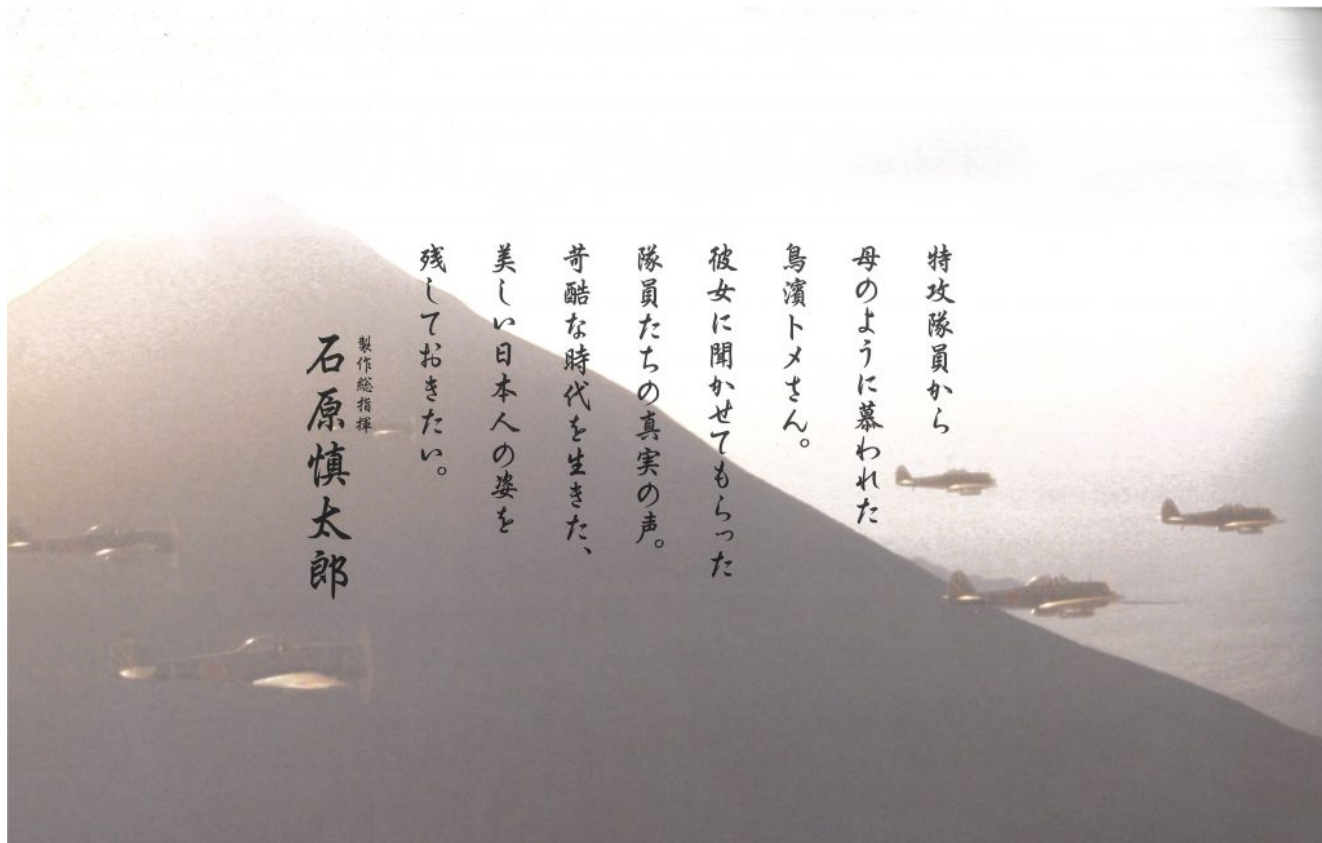
この映画は鹿児島県知覧町（現 南九州市）を舞台に、特攻隊員たちと彼らを見送った富屋食堂の店主 鳥濱トメの交流を描いています。

そして、今回の見学先となり戦争について考え、思いを馳せてみました。



糸山英太郎塾長著「ケンカ哲学」出版記念京都講演 2005年2月5日 於 祇園一力亭

映画製作協力のきっかけとなった祇園一力亭での石原慎太郎氏との出会い（向かって石原氏左後方が荒金社長）



特攻隊員から

母のように慕われた

鳥濱トメさん。

彼女に聞かせてもらった

隊員たちの真実の声。

苛酷な時代を生きた、

美しい日本人の姿を

残しておきたい。

製作総指揮
石原慎太郎

石原慎太郎氏の映画製作への思い



特攻隊員役を演じたキャスト



特攻隊員から母のように慕われた鳥濱トメ役を演じた岸恵子氏

[illegible]

STAFF

製作総指揮 石原慎太郎

「俺は、君のためにこそ死ににいく」製作委員会

坂上 順

平林 彰

住田良能

企画 遠藤茂行

高橋 勝

プロデューサー 角田朝雄

吉田晴彦

脚本 石原慎太郎

音楽 佐藤直紀

制作総指揮 脚本を務めた石原慎太郎氏

協力

東映アニメーション	東映京都撮影所
特撮研究所	コダック
ナック	日本シネ・サービス
東京美工	東京衣裳
大泉美術	高津装飾美術
松下美術背景	大澤製作所
秋山工房	紫水園
ヒルマモデルクラフト	マーブリングファインアーツ
ホリオート	エル・エー・カンパニー
グリフィス	スプリーム・エフェクト
大平特殊効果	ローカスト
M's Sound	アルカブース
ディオス	

佐藤雄司	藤田行治	荒金憲一
藤本泰子	藤本晋一	平賀秀夫
大川嘉成	佐藤隆之	有松 宏
孫 泰生	道端慶二郎	兒玉圭司
佐居正章	丹田益生	中野岳之
青木義照	藤堂裕隆	小柳快裕

映画製作に資金協力した荒金社長の名前も刻まれました（出演交渉もあったようです）



映画の主題歌は、B'zが歌う「永遠の翼」

～2日目～

湯布院の街を散策しました。ここは専門店が立ち並び、商いについて学びます。



可愛らしい動物のミニガラスを始め、ガラスの器など多種多様に揃えている、湯布院では最大規模のガラス取り扱い店です。

～3日目～

社長を講師に研修会を実施します





お世話になったお宿で記念撮影